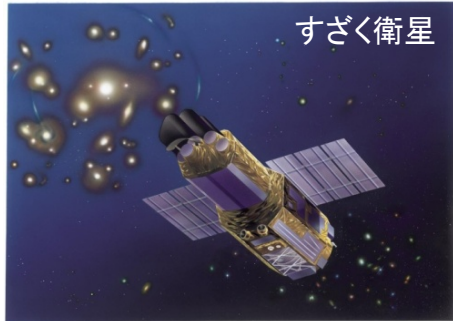




2010年4月13日 MAXI チーム(MM)

すざく衛星との連携観測

- MAXI はX線モニター観測として見つけた興味ある天体を、運用中の他の衛星と連携観測をして精しく探求するチャンスを狙います。No.008のニュースで米国の Swift 衛星との連携観測を報告しました。日本の「すざく」衛星との連携観測も行っています。
- 「すざく」衛星は宇宙科学研究所が2005年7月にMVロケットで上げた世界に誇る日本の第5号X線天文衛星です。全長6.5 mのX線望遠鏡(0.2-10 keV)の他、硬X線からガンマ線(10 ~ 700 keV)までポインティング観測ができます。この他ガンマ線バーストモニタも備えています。「すざく」は汎用X線天文台として世界の研究者に広く利用されていますが、望遠鏡と太陽角度の関係で観測可能視野が制限されております。
- MAXIチームは「すざく」の国際的な観測プログラム委員会に申し出て、MAXIで見つかった緊急性のある天体を「すざく」で特別に観測してもらうことになりました。すざくの密な観測プログラムに割り込むため、観測後の解析と結果に責任が生じます。
- MAXIのデータに基づきこれまでに「すざく」で観測が実施された3天体を次ページに示します。なお、MAXIで観測したガンマ線バーストが、「すざく」でも観測されている場合は、既に両者を合わせたデータ解析を行っています。



「すざく」 X線天文衛星との連携観測



<http://maxi.riken.jp>

XTE J1752-223 昨年X線新星として出現したブラックホール連星。

「すざく」の太陽角制限を待って 2月26日に観測された。X線減光途中の貴重なデータを得た。

右図は横軸2009年8月14日から2010年4月6日までの時間に対し縦軸は1.5-20keVのMAXIのX線強度。矢印は「すざく」で観測された時期(以下同様)。

V0332+53 長楕円軌道を成すトランジェントX線パルサー。「すざく」の多くの観測プログラムに割り込んで 2月15日に観測された。X線強度の高い時期を狙ったが、タイミングの都合で、これまで観測されなかった暗い時期に観測した。

A0535+26 長楕円軌道を成すトランジェントX線パルサー。4月7日に観測でき、この時期では満足のいく強度(かに星雲強度の1/2)であった。X線パルサーの構造が初めて精しく得られると期待されている。

今後もすざくとの連携観測で成果の倍増が期待される!!

